

つの大学にすぎない。天文は高校では地学という分類に入っており、大学の教養科目でも地学で天文を教えるようになっているが、実際に天文学専攻の地学の先生もっている大学の数は少ない。したがって高校などの地学の先生も、大学で天文学を教わっていないという現象もおこっているのであるが、これは感心したことでない。さらに宇宙科学を振興させるためには、それに従事する地球物理・物理学・ロケット工学などの専門家にも、大学である程度の天文の授業をうけさせる必要があるのではあるまいか。

昨年の IAU 総会でも、天文教育に関する委員会の発足も決議されたことでもあるし、日本天文学会でも日本における天文教育がどうあるべきか検討する必要はあるだろう。

前にものべたように、天文学将来計画案の検討は、学会会議の要請により天文学研究連絡委員会がとりあげ、一応、位置天文学(奥田豊三・虎尾正久)、太陽物理(長沢進午・末元善三郎)、恒星(清水蠶・大沢清輝)、太陽系(宮本正太郎・斎藤國治・古畑正秋)、電波天文(高

倉達雄)、理論その他(海野和三郎・古在由秀)という部門にわかれ、かつこの中に名前をあげた者が世話人となって各部門毎の計画をまとめている。これをまとめて、天文学将来計画をまとめあげるさいには日本天文学会の協力も求めなければならないので、またすでに部門別の討論に参加された方もあると思う。

このような機会に、日本のすべての天文の研究者が、自分は将来あるいは現在どんな風な研究をすすめていきたいか、あるいはいるか、それは現在の設備あるいは制度で可能であるのか、もし可能でないのならはどうしたらよいか、といった問題を考えて見てはどうだろうか。

現在天文学会が春の年会で行ってきているシンポジウムも、3年に一度位はこんな問題を取りあげてもよいと思うし、今年のシンポジウムについては関係の方々在天文学将来計画の会を開くようお願いしてある。

天文月報にも、各国における天文教育についての紹介、また日本の各大学の天文教室、研究所、あるいは各研究者の将来の夢といったものに関する記事ものせてもらいたいものである。

## 雑 報

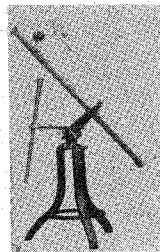
1963年7月21日皆既日食観測成果集 表題のような孔版の印刷物が、編者木村精二、武石信之両氏より送られてきた。(B5判, 112頁)これは1963年の北海道日食に際して、皆既帯に行かれた木村、武石両氏が、他の多数の観測者の観測記録を集められたものである。序文によれば

“私どもも観測をしたが、短時間のためごくわずかなものしか得られないのが残念であった。そこでさらに多くの事実を知るために、多数の観測者の結果を集めたいと考え、住所を知り得るすべての人に観測結果を報告されるようお願いした。この目的のためには、観測者があるかじめ計画、準備して得られた成果はもちろん、予期しない事実も記載できるように、日食観測中に認められた事柄は何でも記入できるように、一定様式の個人用報告用紙を作り、各観測者に送って回答を求めた”ということである。

こうして集った報告数は90通、観測者の総数は122となる。観測地別的人数は美幌町(19名)、網走市(52)、ラウス岳とその附近(44)、知床岬(7)である。

観測成果としては、接触時刻は、13地点で、20名の観測者によって46個の時刻観測値が得られた。コロナの眼視観測の報告は59名、プロミネンスを報告は21名である。コロナの色としては、美幌、網走ではだいたい色などの赤みかかった色と見ている人が多いが、ラウス岳で見た色の頻度の山がだいたい色と、黄、緑の辺と

の二つにわかれている。コロナ、プロミネンスは皆既時間の前後かなりの時間にわたって見られており、コロナ



16cm 経緯台

### 厳密なる精度・安価な値段

ニュートン式抛物面鏡(斜鏡付き)

8cm~30cm(アルミメッキすみ)

カセグレン式抛物面鏡(補鏡付き)

20cm~30cm(アルミメッキすみ)

接眼鏡(全面コーティングすみ)

オルソスコファイック5m/m, 9m/m

その他ケルナー、ミッテンハイゲン各種。

### 屈折二枚合成アクロマチック対物レンズ(光軸修正

棒付き)有効口径(8cm以下製作中止)8cm,

9cm, 10cm, 11.5cm, 15cm, 各口径  $f=1:15\sim 1:11$

接眼鏡: ラックピニオン二段式 40m/m 接眼鏡兼用

架台: 全周ウォーム式。

上下微動: ネジに遊びのない独自の設計。

脚: 振動のないアルミニウム鋳物

製。

カタログ郵券 10円

8枚(誌名記入)

### 完成反射望遠鏡各種

有限  
会社

### 足立光学レンズ製作所

東京都武蔵野市関前5丁目1,185

国鉄中央線武蔵境駅下車バス桜橋停降

TEL 武蔵野 0422⑤8614番

振替口座 東京 41970番

は平均して前 6 秒、後 17 秒、(最大は前 52 秒、後 51 秒)の間見られた。

本影雖は 16 人によって観測され、写真撮影をしたのは 6 人、内 2 人は全天カメラである。

シャドーバンドを注意したのは眼視は 4 名、外に 3 名が映画および写真を使ったが、いずれの場合もシャドーバンドは認められなかった。これらの外に、空の明るさや色、星の見え方、気象観測などの報告がある。本集ではこれらの報告を各地区別に、代表的なものはかなりくわしく再録してあり、通読してなかなか興味あるものがあった。日本でしばらくはみることができなくなる皆既日食のわずかな貴重な時間を、日本のアマチュア諸君がもてる器材と意欲を傾けて立向った姿が、どの頁にも充ち充ちていて、楽しくかつ頼もしい限りである。(下保)

(53 頁より) 日周変化と年周変化の分離には昼夜観測をするか、少なくとも 12 時間連続した観測をしなければ赤緯誤差と重り合う日周、年周変化の分離は不可能にな

る。

## 8. むすび

ILS の当面する問題点を上げ IPMS を発展させる方針を検討してきた。局地誤差を観測所の増減による  $x, y$  の変化から決定するには問題があり、今後発表する極運動座標には必ず  $(O-C)$  や  $p.e.$  をつけて精度の比較ができるようにしておくのが望ましい。観測所を新設する場合、できるだけ既存の観測所と同緯度にあるよう考慮すべきである。星表誤差の決定は子午環観測を強化継続することが有効で、とくに独立観測所にとって必要なことである。観測機械の自動化によって昼夜観測を行なえば、極運動によらない地球物理学的現象の解明に役立つ。極運動のように全地球の運動は機械の精密化によって得られるという考えと共に、強力な国際共同観測を押し進めることを計画すべきである。IPMS がさらに強力な国際共同極運動観測事業となつてこそ時代の、学問の要求する“地球の自転”問題を解く真の鍵を与えてくれるであろう。

### 新発売!!



**普及型**  
**10センチ 反射望遠鏡 (経緯台)**

※口径 100 ミリ ※焦点距離 900 ミリ ※倍率 72 倍 ※アイピース 12.5 ミリ 1 個 ※接眼部ラックピニオン付、上下微動装置完備 ※木製三脚 ※水平微動付 3,000 増

- 超特價 18,500 円 円 1,500 円  
ファインダー付 (口径 30 ミリ 6 倍) 2,400 円増
- 8cm 簡易赤道儀 特價 9,800 円 円 1,000 円

皆様の工作室「清原光学」が、すばらしい新型を発売しました。性能価格共に絶対に他社の追随を許しません。光学部品は標準型と同じですから最高の見えの良さを保証いたします。その他、自作用部品もありますからご相談下さい。

(切手 10 円 2 枚同封)

東京都新宿区東大久保 2-271 振替東京 8643  
**清原光学研究所**



### カンコー天体反射望遠鏡



二十糎 C G 式 焦点距離 二段切換  
天体反射望遠鏡

- ★ 天体望遠鏡完成品各種
- ★ 高級自作用部品
- ★ 抛物面鏡、平面鏡、軸外し抛物面鏡
- ★ アルミニウム鍍金
- ★ 電源不要観光望遠鏡 (カタログ要 30 円切手)

**関西光学研究所**  
京都市東山区山科竹鼻 TEL 京都 09 0057

|                  |                     |              |  |
|------------------|---------------------|--------------|--|
| 昭和 40 年 2 月 20 日 | 編集兼発行人 東京都三鷹市東京天文台内 | 広瀬 秀雄        |  |
| 印刷発行             | 印刷所 東京都港区芝南佐久間町一ノ五三 | 笠井出版印刷社      |  |
| 定価 70 円(送料 6 円)  | 発行所 東京都三鷹市東京天文台内    | 社団法人 日本天文学会  |  |
| 地方売価 75 円        |                     | 振替口座東京 13595 |  |